

生徒の活動紹介

福島高校SSH復興プロジェクト

福島高校SS部

2011年の震災後、福島高校SS部では高校生の力で何かできないかと真剣に考え「SSH福島復興プロジェクト」を立ち上げました。

当時の先輩方の意志を引き継いだ私たちは、現在、ウナギの養殖と研究を行っています。一昨年では、地元卸売市場のイベントに参加し、ウナギの試食会を実施してきました。ただ、高校生が養殖をすることは簡単なことではありません。これまでも多くの課題に直面してきました。例えば、一日の摂餌量を増やすため餌の大きさや味、水質をきれいに保つためのろ過装置の改善など日々生じる課題を少しずつ解決し前進してきました。その苦勞が実り、昨年、高栄養価成分ユーグレナを含んだ飼料で育てた「ふっこうみどりうなぎ」を地元料亭竹林亭の協力のもと、うな重として初めての販売をすることができました。販売当日は自分たちで配膳し、お客様からいただいたたくさんの応援の言葉は、今後の活動の大きな励みになりました。私たちの活動は難しいことばかりですが、その分、やりがいと充実感、そして達成感はひとしおです。

高校生だからできないと考えるのではなく、高校生だから挑戦できる、そういう気持ちで福島の魅力を一つでも創出しながら今後も活動を続けていきたいと思えます。



福島高校SS部の生徒達

平工業高校のボランティア活動

福島県立平工業高等学校生徒会 前会長 内山瑞葵

～すべては、喜んでくれる人たち笑顔のために～

本校生徒会の主な活動は、下記の8つです。

- ① アルミ缶回収による老人ホームへの車椅子寄贈
- ② アフリカ・マリ共和国へジャージや運動靴を贈る活動
- ③ ペットボトル回収による世界の子供達にワクチンを贈る活動
- ④ インクカートリッジ回収による発展途上国支援
- ⑤ 老人ホーム慰問&吹奏楽部の演奏会企画
- ⑥ 保育所訪問
- ⑦ 支援学校の夏祭り・文化祭のボランティア
- ⑧ 緑化委員と協力した校内外の清掃・植栽

本校生徒会の活動は先輩方の「もったいない精神」で社会貢献活できないかという思いから様々な活動が始まっています。

①の活動は、主に校内で生徒達が飲んでいるジュースの缶や実習で使用された廃材を集め換金し車椅子を購入しています。現在 17 年間で 41 台の車椅子を老人ホームへ寄贈しています。

②は、高校入学時に購入したジャージや運動靴を高校卒業時に寄付してもらいそれをきれいに洗濯して必要としているマリの子供達へ贈っています。現在 13 年間継続している活動です。

③は、平成 20 年度の先輩方が自分達の代で何か新しいことに挑戦したいという強い思いから生まれた活動です。キャップは再資源買取業者を通して 800 個でポリオワクチン 1 人分になります。捨てればゴミとなり燃やせばCO₂を発生させ地球環境に悪影響を及ぼす物も視点を変えることで新たな道が開けます。現在ワクチン 1300 人分を達成しています。

④は、職員室等からインクカートリッジを回収し、NPO法人を通して発展途上国の教育費や文房具などに役立てられています。



第 13 回マリ共和国へ支援物資発送式



老人ホームへ車椅子第 41 号贈呈式